

ビジネス価値創出のための成熟度フレームワーク：IT-CMF

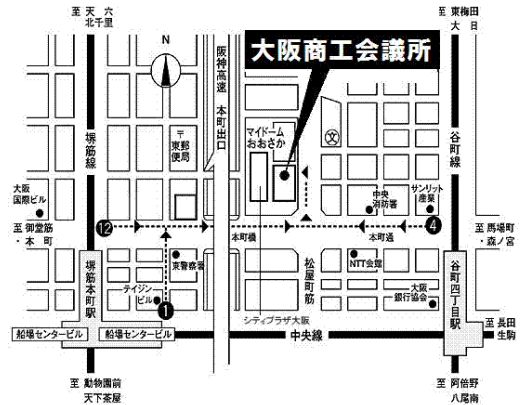
IT-CMFは、インテルによって開発された、企業におけるIT利活用の度合いを、35の重要活用力について、5段階の成熟度で評価するというもので、現在、アイルランド国立メヌース大学にあるIVI(Innovation Value Institute)で、教育および研究が行われています。IT-CMFにより各企業は、IT利活用に関する組織の強みと弱みを知ることができ、検討すべき活用力がどこにあるのかを知り、また成熟度を向上する指針を得ることができます。(http://www.ivi.ie/it-cmf)

このたび、東京工業大学・社会人教育院では、IVIから教育担当ディレクターのMichael Hanley氏をお迎えし、シンポジウムを開催することになりました。万障お繰り合わせの上ご参集ください。

記

【日時】 2016年3月8日（火） 13:30~16:55
(受付開始 13:00)

【場所】 大阪商工会議所2号会議室(B1)
〒540-0029 大阪市中央区本町橋2番8号
地下鉄堺筋線・堺筋本町駅より徒歩7分
地下鉄谷町線・谷町4丁目駅より徒歩7分
☎06-6944-6268



【スケジュール】

13:30	開会
13:35~14:55	Michael Hanley氏による講演および質疑
14:55~15:10	休憩
15:10~15:30	「わが国でのIT-CMF普及活動」 (IVI日本支部設立準備委員会事務局長 近野章二)
15:30~16:10	ケース1：「IT-CMFによるアセスメントの実際」 (東京工業大学 飯島淳一)
16:10~16:50	ケース2：「医療機関におけるIT-CMF適用の事例と課題」 (久留米大学 下川忠弘)
16:50	閉会

【参加費】

【使用言語】

【定員】

【お申込受付期間】

【申込み】

【お問合せ】

【主催】

無料

英語（ Michael Hanley氏による講演および質疑）・日本語
50名（満席となり次第受付を締め切ります）

2016年1月25日（月）～3月4日（金）

①氏名、所属をご記入の上、下記までご連絡ください。

②参加のご案内（参加票）をメールにてお送りします。

③参加票は、当日受付にてご提示ください。

ivi@kyoiku-in.titech.ac.jp（社会人教育院事務室）

東京工業大学社会人教育院

